

事業群評価調書（令和7年度実施）

基本戦略名	2-3 環境変化に対応し、一次産業を活性化化する	事業群主管所属・課(室)長名	水産部 水産加工流通課	鈴木 正昭
施策名	3 養殖業の成長産業化と加工・供給体制の強化	事業群関係課(室)		
事業群名	③ 県産水産物の国外販売力の強化	令和6年度事業費(千円)	※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	50,640

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)						(取組項目)				
輸出先国における産地間競争が激化する中、海外市場での競争力を高めるとともに、新規市場の開拓により輸出の継続・拡大を図るため、社会経済の変動にも対応できる更なる商品力の強化や安定生産・供給体制の構築等を推進します。						i)県産水産物の輸出促進（海外での本県水産物のPR、海外ニーズに合う商品づくり、輸送ルートや新規販路の開拓）				
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標（年度）	（進捗状況の分析）  令和5年8月のALPS処理水放出以降、中国による日本産水産物の輸入停止の影響で令和5年度は前年度を下回ったが、令和6年度においては韓国・米国向け養殖ブリやフィリピンなどの東南アジア向け冷凍サバの輸出などが大幅に増加し、輸出額は70.5億円となり、目標を達成した。
	水産物輸出額	目標値①		40億円	42億円	46億円	48億円	50億円	50億円（R7）	
		実績値②	27億円（H30）	42.2億円	71.5億円	64.1億円	70.5億円		進捗状況	
		達成率②／①		105%	170%	139%	146%		順調	

2. 令和6年度取組実績（令和7年度新規・補正事業は参考記載）

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要	指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和6年度事業の成果等	
				R5実績	うち一般財源	人件費 (参考)	令和6年度事業内容及び実施状況 (令和7年度新規・補正事業は事業内容)	主な指標	R5目標	R5実績	達成率		
				R6実績					R6目標	R6実績			
				R7計画					R7目標				
				事業実施の根拠法令等									
				事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業			他の評価対象事業 (公共、研究等)				
所管課(室)名				事業対象									
取組項目i	○	1	長崎産水産物海外販路開拓事業費	41,350	25,078	38,295	●事業内容 多様な国・地域への新規輸出支援及び販促PRなどにより本県水産物の海外販路開拓を促進する。 ●実施状況 令和6年度は、ALPS処理水放出による中国の日本産水産物の全面輸入禁止の対策として、「長崎鮮魚」の香港・韓国・タイへの市場開拓を実施した。また、輸出強化を目指す生産者等の東南アジアや米国への新たな取組の支援を行った。	【活動指標】	10	10	100%	●事業の成果 活動指標 韓国向けに養殖生鮮マグロ・冷凍マナガツオなど2魚種、タイ向けにマダイ・シマアジなど8魚種1加工品、米国向けに冷凍寿司の試験輸出を実施した。 成果指標 韓国向けに養殖ブリの活魚出荷、フィリピン向けに冷凍サバ、香港向けに養殖クロマグロの3件が新規輸出に繋がった。 ●事業群の目標達成への寄与 輸出先国・地域の多角化を推進し、水産物の輸出拡大を図ることで、中国の輸入禁止措置の影響を最小限に留め、輸出額の目標達成に寄与した。	
				50,640	38,653	39,420			試験輸出実施件数	10	12		120%
				【成果指標】	2	2		100%					
			2		3	150%							
		(R6終了)R4-6	—			新規輸出取引件数							
		水産加工流通課	—	—	—								
		2	長崎産水産物海外マーケット拡大事業費				●事業概要 成長する海外の需要を取り込むため、輸出に必要なパートナーの発掘や効果的なPRの実施、新たなルートの開拓等を行い、県産水産物の輸出拡大を促進。	【活動指標】				—	
									商談実施件数（回）				
				68,583	48,086	39,390				10			
				【成果指標】									
									新たに成約につながった件数（件）				
			(R7新規)R7-9	—				3					
			水産加工流通課	—	—	—		輸出業者及び輸出予定業者					

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 県産水産物の輸出促進（海外での本県水産物のPR、海外ニーズに合う商品づくり、輸送ルートや新規販路の開拓）	
●実績の検証及び解決すべき課題 令和5年8月のALPS処理水放出により中国は日本産水産物の全面輸入禁止措置を取ったため、本県にとって厳しい状況が続いた。しかし、「長崎鮮魚」を中国以外の国や地域へ展開するための試験輸出や、各事業者による取引拡大に対する支援及び韓国へのブリ活魚輸出などへの輸出証明書の円滑な発行等に取り組んだ結果、目標値48億円に対して、実績値70.5億円となり、試験輸出実施件数、新規輸出取引件数とも目標数値を上回った。 中国の輸入再開の折には、販促プロモーションの実施等による迅速なシェア回復や取引拡大を図るとともに、まだ輸出実績が少ない東南アジアへの新規販路開拓など、引き続き輸出先国・地域の多角化を進めて行く必要がある。	●課題解決に向けた方向性 中国以外の新たな国や地域への販路開拓に向け、「長崎県水産物海外普及協議会」構成員等と連携した販促PR活動や新たに生産量日本一を誇る養殖クロマグロをリーディング商品とした海外販路開拓を推進していく。 中国に対しては、他県に先駆けて輸出再開を実現できるよう、引き続き現地パートナーとの連携強化に取組み、現地販促プロモーションの実施などシェアの回復、取引拡大につながる活動を実施していく。

4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和7年度事業の実施にあたり見直した内容	令和8年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目i		2	長崎産水産物海外マーケット拡大事業費	R7新規	②	主要輸出国である中国や米国においては、輸入再開や関税の影響など情勢の変化を速やかに把握して対応するとともに、長崎県水産物海外普及協議会構成員や関係機関と連携した販促PR活動や市場調査、商談等を行い、輸出拡大につながる事業構築を図っていく。	改善
			(R7新規)R7-9				
			水産加工流通課				

注：「2. 令和6年度取組実績」に記載している事業のうち、令和6年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】	
① 視点①	事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
② 視点②	指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
③ 視点③	人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④ 視点④	政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤ 視点⑤	県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥ 視点⑥	県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦ 視点⑦	戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧ 視点⑧	国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。
⑨ 視点⑨	経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩	その他の視点